

掌編

# 雨宿り

土田清十郎

## 雨宿り

---

いらっしゃいませ、お客さん。こっちで受け付けをお願いしますね。

いやあ、ひどい雨ですね。ここまでひどいと、車でも出歩く気にはなれませんよ。

観光でこちらに？

まあ、それはお気の毒に。今日はこの宿でゆっくりしてってください。

おやまあ旦那さん、ひどい濡れようですね。こちら、タオルです。どうぞお使いになってください。もう一枚ありますから、こちらも使ってください。

それにしても寂しい所でしょう？最近では観光客なんて滅多に来なくなりましたよ。おかげでこの旅館も人件費の削減に取り組んでおりまして、この時間の受け付けは私だけですわ。この広いロビーに一人ぼっち。心細いったらありやしない。お客さん達との会話が唯一の楽しみですわ、わははは。

今日は海側の道から来られたんで？

ほう、山側から。今は山側を通る人は少ないですけどね、晴れた日はそりゃあ景色が綺麗ですよ。明日は晴れるといいですがね。

え？道が細くて通るのに苦労した？

変ですねえ。山側の道は最近舗装されたばかりで、通るのに苦労するような場所はなかったと思います。旦那さんもしかして、大型バスでも運転してきたんですか？わははは。

はい、使用したタオルはこちらで預かります。それではここに、お名前とご住所をお書きください。

……実を言うとですね、山側の道は舗装される以前に、車の転落事故が起きてるんですよ。道が細すぎて、崖下に車が落ちこちたんです。ちょうど今日のような激しい雨の日でした。視界も悪かったんでしょう。

転落した車は一週間後に発見されました。

おや？不思議ですか？

このあたりは森が深いですからね。運悪く、車が木の茂みに入ってしまったんですな。もともと人通りは多くなかったので、発見が遅れたそうですわ。

発見された時の女性は、……ああ、転落したのは女性だったんですけどね、もちろん仏さんになっていましたが、その女性は血色の悪くなった顔でカツと目を見開いて、それは恐ろしい形相だったそうですよ。

それ以来、激しい雨の日に山側の道を通ると、女の幽霊が出るって噂ですよ。

血まみれで山道に立っているだとか、知らないうちに車に乗り込んでいるだとか。

おや？旦那さん、案外平気そうですね。山側から来たお客さんにこの話をすると、大体みなさん驚いてくれるんですけどね。私も腕が鈍ったかな、わははは。

書き終わりましたか。用紙はこちらで預かりますね。  
それでは今日は、奥様と一緒に二人部屋でよろしいですか？  
え？独身？お泊りは一人？  
いやだなあ旦那さん、だったら後ろの女性は一体誰なんです？

おわり